

## 第 2 知 事 戦 略

## 第 2 知 事 戦 略

知事戦略部は、「新・群馬」の創造に向けた取組の司令塔として、政策立案や県政情報の発信、エンターテインメントを軸とした魅力発信、デジタルトランスフォーメーションの推進、トップ外交、グリーンイノベーション・交通イノベーションの推進等を戦略的・機動的に実施している。

令和 7 年度は、「新・群馬県総合計画」の実現と「群馬モデルの発信」に向け、「湯けむりフォーラム」の開催、（仮称）デジタルクリエイティブスクール構想検討、「G u n M a a S」の推進など、次の重点施策等に取り組んだ。

### 【令和 7 年度に実施した重点施策及び主な取組】

#### 1 政策立案・検証

- ・新・群馬県総合計画の普及啓発
- ・湯けむりフォーラム 2025 の開催

#### 2 戦略的な情報発信

- ・メディア戦略推進
- ・動画・放送スタジオ「tsulunos」の運営・活用
- ・メディアミックス戦略高度化
- ・ショート動画活用

#### 3 エンターテインメントを軸とした魅力発信

- ・（仮称）デジタルクリエイティブスクール構想検討
- ・ぐんまちゃんのブランド化

#### 4 デジタルトランスフォーメーションの推進

- ・地域課題解決プロジェクトの実施
- ・官民共創スペース「NETSUGEN」の運営・活用
- ・デジタル基盤整備

#### 5 グリーンイノベーションの推進

- ・カーボンニュートラル推進
- ・再生可能エネルギー導入の促進
- ・グリーンイノベーション推進

#### 6 交通イノベーションの推進

- ・「G u n M a a S」の普及拡大
- ・公共交通網の整備・維持

#### 7 戦略的な地域外交

- ・知事によるトップ外交の実施
- ・国際交流イベントの実施

## 1 知事戦略管理費

### (1) 庁議

知事、副知事、各部局長等で構成する「庁議」を開催し、県の重要施策についての協議や情報共有を行った。

| 開催回数 | 付議件数 |
|------|------|
| 33回  | 48件  |

### (2) 総務調整費

決算額 13,191 千円

部内共通経費や年度途中に機動的な対応が必要となった経費等に支出した。

| 区分            | 金額      |
|---------------|---------|
| 主管課運営費（主管課経費） | 3,265千円 |
| 部局調整費（赴任旅費等）  | 9,926   |

### (3) 社会参加費

決算額 125 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聴いて県政に反映し、また、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体の会合出席に伴う会費等の支出を行った。

| 所属数     | 金額    |
|---------|-------|
| 知事戦略部7課 | 125千円 |

### (4) 政策調査

決算額 2,167 千円

職員の自由な発想を県政に反映させるため、政策プレゼンを実施した。一般職員から5テーマの提案があり、令和8年度において事業化につながっている。また、政策プレゼンの実施や新規政策の検討のため、職員が行う調査研究について「政策プレゼン等調査研究費」により予算面の支援を行った。

| 対象調査研究数 | 金額    |
|---------|-------|
| 5件      | 176千円 |

### (5) 戦略企画推進

決算額 1,135 千円

#### ① 庁内連携ブリーフィング等運営

県の施策に係る全庁的な調整・情報共有を行うため、「庁内連携ブリーフィング」を10回開催した。

#### ② 寺子屋・自我作古開催支援

職員の政策立案能力の向上及び各業界で活躍する講師との関係構築を目的とした自主勉強会（寺子屋・自我作古）の開催を支援した。

・開催支援回数7回（参加者数延べ73人）

## (6) 連携推進

決算額 15,733 千円

### ① 各種知事会議

各種知事会議の場において、群馬県の考え方や政策を発信するとともに、近隣県との連携並びに国への要望活動を実施した。

| 会 議 名              | 開 催 状 況                                                                            |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 全 国<br>知 事 会 議     | ・ 2 回（7 月、11 月）開催<br>・ 令和 8 年度税財政に関する提案や国施策予算への要望などを決議                             |
| 関 東 地 方<br>知 事 会 議 | ・ 2 回（5 月、10 月）開催<br>・ 群馬県発議「保育士配置基準の抜本的な見直しについて」「難聴児への適切な支援について」等全 23 項目の国への要望を決議 |

### ② 公立大学法人等評価

群馬県公立大学法人の業務の実績に関する評価の補助制度として、大学法人の令和 6 年度事業報告に対する意見聴取を行った。

### ③ 高校生リバースマンター

知事のメンターを委嘱された高校生 10 名からの提言を受け、事業化も含め、県政への反映を検討した。

| 主 な 提 言 テ ー マ                           | 実 施 状 況                                      |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------|
| “献血しやすい群馬”を目指し、若い世代（10 代、20 代）の献血率をあげたい | ・ 献血に係る動画・リーフレットの作成及び情報発信<br>・ 献血セミナーの開催     |
| 外国人のコミュニティの輪を広げ、医療体制やサービスなどの情報を普及する     | ・ 外国人県民向けの医療関連情報をまとめた「ぐんま外国人医療情報ポータル」を開設     |
| 湯治文化の認知拡大、誰もが楽しめる温泉環境の整備                | ・ 入浴着理解促進に係る動画制作、発信<br>・ 新・湯治文化の周知に係る動画制作、発信 |

## (7) 未来創生

決算額 407,479 千円

### ① 総合計画・総合戦略

#### ア 総合計画

##### (ア) アップデート

新・群馬県総合計画について、群馬県を取り巻く環境や時代の変化を踏まえ、令和 8 年度中のアップデートに向けて検討を開始した。

・ 取組事項：新・群馬県総合計画懇談会を開催し、有識者の意見を徴したほか、県民アンケートや、関係団体への意見聴取を行った。

##### (イ) 普及啓発

幅広い世代を対象に、新・群馬県総合計画の普及啓発を実施した。

・ 取組事項：令和 6 年度に作成した海外向けの群馬県 P R 動画にデジタルクリエティブパートを追加した。

## イ 総合戦略

群馬県デジタル田園都市構想総合戦略について、評価検証に係る有識者会議を開催し、外部有識者の意見を踏まえ、評価検証結果を報告書としてまとめた。

### ② ふるさと納税推進

#### ア ぐんまふるさと納税（個人版ふるさと納税）

新たに 83 品の返礼品を追加することで返礼品の充実を図り、施策に賛同いただいた多くの方から寄附を受け入れた。

#### イ 企業版ふるさと納税

群馬県が行う地方創生の取組に対し、賛同いただいた幅広い企業から寄附を受け入れた。

#### ・寄附受入実績

| 区 分       | 令和 7 年度 |               | 令和 6 年度 |               |
|-----------|---------|---------------|---------|---------------|
|           | 件 数     | 金 額           | 件 数     | 金 額           |
| 個人版ふるさと納税 | 9,978 件 | 674,624,862 円 | 9,462 件 | 601,205,400 円 |
| 企業版ふるさと納税 | 37      | 400,831,160   | 30      | 120,865,390   |

### ③ 新しい地方経済・生活環境創生交付金

新しい地方経済・生活環境創生交付金について、群馬県が実施する事業の庁内調整、県及び市町村申請のとりまとめ等、事務手続きを行った。

| 区 分               | 実 績 （ 国 費 ベ ー ス ）                      |
|-------------------|----------------------------------------|
| 第 2 世代交付金（ソフト事業）  | 22 事業 1,693,117,747 円<br>(令和 6 年度繰越含む) |
| 第 2 世代交付金（拠点整備事業） | 6 事業 900,925,081 円<br>(令和 6 年度繰越含む)    |
| デ ジ タ ル 実 装 型     | 1 事業 243,537,525 円                     |

### ④ 官民共創コミュニティ育成

#### ア 官民共創による政策実現のためのオンラインプラットフォーム

多様な意見を取り入れた官民共創による政策実現の一環として、デジタルを活用した新たな政策形成プラットフォーム（PoliPoli Gov）により、政策に関するテーマを掲示し、オンライン上で幅広く県民の声を募集した。

| 募集テーマ                             | 募集期間                           | 意見件数  |
|-----------------------------------|--------------------------------|-------|
| 群馬県自慢の名産品がさらに輝くには？あなたのアイデア募集します！  | 令和 7 年 6 月 19 日<br>～7 月 27 日   | 111 件 |
| あなたが思う「消防団」のイメージを教えてください！         | 令和 7 年 7 月 24 日<br>～9 月 7 日    | 246   |
| 土屋文明記念文学館で「ことば」をどんな形で感じたいですか？     | 令和 7 年 9 月 18 日<br>～10 月 26 日  | 64    |
| あなたが思う、2040 年の群馬県が目指すべき姿を教えてください！ | 令和 7 年 10 月 16 日<br>～11 月 23 日 | 127   |

| 募集テーマ                                                                                         | 募集期間                           | 意見件数  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------|
| 若者世代が献血をもっと身近に感じ、もっと行きたくなるアイデアを募集！                                                            | 令和 7 年 11 月 13 日<br>～12 月 31 日 | 436 件 |
| あなたがオンライン診療を「使ってみたい」と思うのはどんな場面ですか？                                                            | 令和 8 年 1 月 29 日<br>～3 月 1 日    | 168   |
| 夏はハンディファンのいらない 25 度の涼しさ・光きらめく冬。両方の顔をもつ赤城山。週末行こう！となる決め手として何が欲しいですか？こんな赤城山でどんな過ごし方をしたいか教えてください。 | 令和 8 年 2 月 5 日<br>～3 月 8 日     | 178   |

#### イ アン Entrepreneurship 醸成プログラム

若者を対象に、ウェルビーイングの向上をテーマとしたワークショップやフィールドワーク、発表会等を実施するとともに、メンター伴走のもと、課題解決に向けたビジネスアイデアの創出・具体化を支援した。

##### ・参加者数

| 高 校 生 | 大 学 生 | 計    |
|-------|-------|------|
| 12 名  | 9 名   | 21 名 |

#### ⑤ 湯けむりフォーラム

地域社会が抱える様々な課題解決に向けて、時代の最先端に行く独自のモデルや新たな価値を生み出すため、トップリーダーや有識者等による講演やトークセッションなどを行うカンファレンスイベント「湯けむりフォーラム 2025」を開催した。

##### 【開催概要】

| 区 分                      | 内 容                                                                                                           |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開 催 日                    | 令和 7 年 12 月 13 日(土)～14 日(日)                                                                                   |
| 開 催 場 所                  | 群馬県吾妻郡草津町                                                                                                     |
| 参 加 者 数                  | 延べ 616 名 (Day1 : 331 名 Day2 : 285 名)                                                                          |
| 参 加 者 層                  | 県内外のトップリーダー、有識者、学生、一般参加者 等                                                                                    |
| 協 賛 企 業 数<br>( 協 賛 金 額 ) | 24 社 (330 万円)                                                                                                 |
| 主なプログラム<br>( D a y 1 )   | ・南カリフォルニア大学 リピット水田堯副学部長 特別講演<br>・東宝特別企画 片山慎三監督トークショー<br>・群馬交響楽団アンサンブル・コンサート<br>・前橋ウィッチーズ ミニライブ 等              |
| 主なプログラム<br>( D a y 2 )   | ・東宝(株) 松岡宏泰社長 スペシャルセッション<br>・各分野の分科会 (デジタルクリエイティブ、温泉文化、パラスポーツ等)<br>・デジタルクリエイティブコンテスト表彰式<br>・「ReHacQ」特別セッション 等 |

| 区 分                | 内 容                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| そ の 他 企 画          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者交流会（レセプション／アフターミートアップ）</li> <li>・アーカイブ配信の実施</li> </ul>                                                                                                                                  |
| 湯けむりフォーラムで示した主な方向性 | <p>【カンヌ国際映画祭を活用した世界への発信】</p> <p>カンヌ国際映画祭に併設される映画マーケット「マルシェ・デュ・フィルム」の舞台を戦略的に活用し、群馬県を取組を世界の映画人に向けて発信していく。</p> <p>【クリエイティブ拠点化に向けた大規模スタジオ設置の検討】</p> <p>地方へのスタジオ立地に対する国の支援を要望するとともに、国や業界団体等とも連携しながら、県内への大規模スタジオ設置の実現に向けた具体的な検討を進める。</p> |

## （８）ＥＢＰＭ推進

決算額 13,842 千円

### ① ＥＢＰＭ環境整備

令和８年度当初予算編成にロジックモデルを活用した。また、個別事業の伴走支援として、課題の明確化、ロジックの整理、効果検証の設計・分析等を実施した。人材育成では、コミュニティサイト上にモデル事業の進捗を報告し、研修動画を掲載した。

### ② 県民幸福度指標

県政の最大目標である「県民幸福度の向上」に向け、幸福度を「見える化」し政策の方向性を示すことを目的に「令和７年度群馬県幸福度レポート」を公表した。

さらに、令和８年度の幸福度レポートへの活用に向け、県民の主観的な幸福感を把握するため、「県民幸福度アンケート」を実施した。

### ③ 県政重要課題に係る県民アンケート

県政の重要課題に係る県民の意見を迅速に県政へ反映するための基礎資料・効果検証に活用するため、県民アンケート（インターネット調査）を実施した。

## （９）東京事務所運営

決算額 33,055 千円

在京の窓口として、県と中央省庁、国会、県人会等との間に入り、連絡調整を行うとともに、各都道府県、知事会等との連携を推進した。また、国の予算情報の収集や県人会を通じたふるさと納税の周知など、県政運営に有益な情報の収集及び県政情報の発信を行った。

・各部局と連携した中央省庁、国会等への要望活動実施件数 157 件

## （10）首都圏情報発信

決算額 16,719 千円

首都圏において、パブリシティ活動や物産販売、観光・イベント情報の効果的な発信等を実施し、群馬の魅力を総合的にＰＲした。

### ① パブリシティ活動

テレビ局、新聞社、出版社の他、ネットメディア等への取材協力や情報提供等を積極的に行い、県の露出度アップを図った。

② 首都圏における物産振興・魅力発信

期間限定の物産展や各種イベントを開催し、群馬県の魅力的な物産情報等を広く発信することで、群馬県の物産振興やイメージアップを図った。また、HP、SNS（X（旧Twitter）、Facebook、Instagram）等を活用し、群馬県のPRにつながる情報発信を積極的に行った。

③ 旅行エージェント等と連携した観光誘客促進

旅行エージェントへの積極的な訪問や情報提供、ノベルティグッズの配布等により、群馬県へのツアー造成を促進し、県内への観光誘客を図った。

| 区 分      |           | 令和7年度   | 令和6年度   | 前年度比  |
|----------|-----------|---------|---------|-------|
| パブリシティ活動 | テレビ・ラジオ放送 | 385件    | 511件    | 75.3% |
|          | 新聞・雑誌等掲載  | 28      | 30      | 93.3  |
|          | Web掲載     | 984     | 1,371   | 71.8  |
|          | 広告料換算額    | 18億4千万円 | 37億3千万円 | 49.3  |
| ツアー造成件数  |           | 32件     | 62件     | 51.6  |
| 物産展来場者数  |           | 8千人     | 1万3千人   | 61.5  |
| 物産展売上額   |           | 213万円   | 264万円   | 80.7  |

## 2 メディアプロモーション費

### (1) メディア戦略推進

決算額 22,697 千円

① ぐんま応援びと

SNSで群馬県の魅力発信を行っている県民による、草の根的な発信を推進する事業として、2つのテーマで写真の投稿コンテストを実施した。

・テーマ及び期間

| テ ィ マ                    | 期 間                  | 投 稿 数   |
|--------------------------|----------------------|---------|
| ぐ ん ま の<br>風 景 ・ 食 べ も の | 令和7年4月21日～令和7年12月26日 | 9,715 件 |
| 上 毛 か る た<br>聖 地 巡 礼     | 令和8年1月9日～令和8年2月25日   | 344     |

・フォロワー数等実績

| 区 分                     | 内 容       |
|-------------------------|-----------|
| 各テーマ受賞者のSNSアカウントフォロワー総数 | 約76,000 人 |
| ぐんま応援びとSNSアカウントフォロワー数   | 28,919    |
| ぐんま応援びと投稿作品の二次利用回数※     | 14 回      |

※投稿作品は県の各種広報媒体等に利用可能としている。

② デザインマネジメントチームの設置

会計年度任用職員1名をイラスト動画デザイナーとして配置し、庁内のチラシ・ポスター等の広報物に係る相談やデザイン支援を実施した。

・庁内制作等の受付件数 252 件

### ③ ソーシャルリスニング

県重要施策に関連した 24 キーワードと、各所属が運用する SNS の 8 アカウントを次により分析し、効果的な発信に向けて各所属に助言した。

#### ア 県重要施策関連キーワード分析

キーワードを含むソーシャルメディア上の投稿を収集し、話題分析、プレ／ポスト分析、ポジネガ分析を行い、訴求対象へより一層情報が届くよう助言した。

#### イ X (旧 Twitter) アカウント分析

自アカウントと同様の情報発信やサービス展開をしている民間や他自治体のアカウントについて、反応の良い投稿などについて分析を行い、自アカウントのフォロー獲得に向けて助言した。

## (2) メディア連携推進

決算額 11,684 千円

主に在京メディア等に対し、「群馬ならではの取り組み」＝「群馬モデル」、県の魅力情報等をニュース素材、情報素材として積極的に企画提案し、取材誘引、ニュース番組、情報番組等における露出拡大を図った。

・支援番組数 64 本（キー局テレビ番組、WEB 番組など）

## (3) 広報活動

決算額 150,620 千円

県政に対する県民の理解を深めるため、広報紙・テレビ・ラジオ等を活用し、迅速かつ的確な県政情報の発信に努めるとともに、子どもや高齢者・障害者等にも配慮した、分かりやすい広報を積極的に行った。

| 区 分 |                                   | 事 業 量                                   |     | 事 業 費     |
|-----|-----------------------------------|-----------------------------------------|-----|-----------|
| 刊行物 | ぐ ん ま 広 報                         | 489,500 部／回                             | 1回  | 91,043 千円 |
|     |                                   | 473,500                                 | 6   |           |
|     |                                   | 455,500                                 | 5   |           |
|     | t s u l u n o s P L U S           | 年 4 回発行                                 |     | 7,172     |
|     |                                   | 473,500 部／回                             | 2   |           |
|     |                                   | 455,500                                 | 2   |           |
|     | 点 字 広 報                           | 350部／回                                  | 12  | 2,184     |
|     | 声 の 広 報                           | 155本／回                                  | 12  | 565       |
| テレビ | 県政インフォメーション<br>群馬テレビ「ニュースジャスト 6」内 | 番組内コーナー（1分30秒）<br>テレビ放送 140<br>データ放送 毎日 |     | 17,563    |
| ラジオ | ぐんま情報トッピング                        | 4分番組                                    | 209 | 14,258    |
|     | ワ イ グ ル P R E F                   | 1分55秒番組                                 | 208 | 7,001     |
|     | コ ミ ュ ニ テ ィ F M                   |                                         | 805 | 8,897     |

#### (4)インターネット広報

決算額 38,207 千円

主としてインターネット情報通信技術の特長を生かした迅速で細かい情報提供を行うなどにより、県民の県政参加への関心を高めた。

| 区 分              |                       | 事 業 量               | 事 業 費     |
|------------------|-----------------------|---------------------|-----------|
| 電<br>子<br>媒<br>体 | 県ホームページ               | 全体アクセス件数 約 2,935 万件 | 33,851 千円 |
|                  | 県 X (旧 Twitter)       | フォロワー数 76,115 人     |           |
|                  | 県 LINE<br>(群馬県デジタル窓口) | 友だち数 806,643        | 4,356     |

#### (5)映像プロモーション

決算額 276,881 千円

##### ① 動画を活用した情報発信

県庁 32 階展望フロアにある動画・放送スタジオ「tsulunos」を活用し、群馬県の取組や群馬県の魅力を県内外に伝える動画を制作・発信した。

| 区 分            | 事 業 量                |
|----------------|----------------------|
| スタジオ等を活用した動画制作 | 総 動 画 本 数 2,123 本    |
|                | 総 再 生 数 1 億 1,757 万回 |

##### ア メディアミックス戦略高度化

複数のメディアを活用し、幅広い世代や訴求層に向けて情報発信を行った。

| 区 分                      | 事 業 内 容                                                                                                 | 事 業 費     |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| メディアミックス実装               | ・複数のメディアを活用し、県 PR 動画の制作・配信、スタジオを活用した視聴者参加型イベントの生配信などを実施<br>・長尺動画 20 本制作<br>・ショート動画 14 本制作<br>・生配信 3 本配信 | 31,859 千円 |
| YouTube コンテンツ<br>動 画 制 作 | ・インフルエンサー9 組を活用した群馬県 PR 動画の制作・配信<br>・長尺動画 36 本制作<br>・ショート動画 50 本制作                                      | 50,600    |

##### イ Advanced tsulunos

群馬県の情報をあらゆる世代に届けるため、特に若年層をターゲットとしたショート動画を制作・配信した。

| 区 分                     | 事 業 内 容                                             | 事 業 費     |
|-------------------------|-----------------------------------------------------|-----------|
| TikTok コンテンツ<br>動 画 制 作 | ・インフルエンサー16 組を活用した群馬県 PR 動画の制作・配信<br>・ショート動画 60 本制作 | 15,969 千円 |

② 県広報番組

群馬の魅力を広く伝えるため、県広報番組を制作し、テレビ放送するとともに、見逃し配信サービスや YouTube チャンネルを活用し、県内外に効果的に発信した。

| 区 分         | 事 業 内 容                                                                                                                                        | 事 業 費      |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 県広報番組の制作・放送 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリエイティブ人材の発掘・応援をテーマとした声優オーディション番組「アニメの星」 全 32 話</li> <li>・子育て応援をテーマとした幼児向け教育番組「ピコラネ」 全 24 話</li> </ul> | 166,835 千円 |

(6) 記者室運営

決算額 12,492 千円

記者会見や資料提供等により、報道機関に対する積極的な情報提供を行い、県民に対する情報発信を充実した。

| 区 分     | 事 業 量                    | 事 業 費     |
|---------|--------------------------|-----------|
| 記 者 会 見 | 157件（県:88、その他:69）        | 12,492 千円 |
| 資 料 提 供 | 4,668（県:2,209、その他:2,459） |           |

3 エンターテインメント・コンテンツ費

(1) 新コンテンツ企画・推進

決算額 123,156 千円

エンターテインメントの力を活用した地域の魅力発信や、クリエイティブ人材の育成に資する取組として、バーチャルプロダクション地域素材の開発や新コンテンツ企画、デジタルクリエイティブスクール構想の検討を実施した。

① バーチャルプロダクション地域素材開発

群馬県内の魅力的な撮影スポット（歴史的建造物や風景等）を撮影し、バーチャルプロダクション用に加工、制作会社等に利用を促すことで、作品を通じた魅力発信を行った。

| 事 業 内 容                                                                                                                                                                                                                                                            | 事 業 費     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・素材の制作結果<br/>制作背景素材数 14 ロケーション 73 シーン<br/>【具体的な制作場所】<br/>草津温泉、毛無峠、昭和庁舎、幹線道路、上毛電気鉄道貸切列車、川場村田園風景、弁天通商店街、臨江閣、つまごいパノラマライン、群馬県庁舎屋上、吹割の滝、ぐんまフラワーパークプラス、ぐんま天文台、ぐんま昆虫の森</li> <li>・制作素材の活用実績<br/>合計 11 作品（映画・ドラマ・CM 等）で活用</li> </ul> | 49,876 千円 |

② 新コンテンツ企画

群馬県の魅力発信と新たな富の創出を目指し、民間主体による商業ベースの映像作品の制作を促すための映像作品企画書を 2 本制作した。

③ (仮称) デジタルクリエイティブスクール構想検討

群馬県では、小学生から高校生までを対象とした tsukurun・TUM0 に続く大学生世代以上（専門学校生・大学生・社会人等）を対象とした新たな人材育成機関の開設を目指している。そのために必要となる基礎調査及びパイロット事業（短期間の試行的ワークショップ）を実施した。

実施したパイロット事業の実績は以下のとおり。

| 講座名                                                                   | 講座内容等                                                                                                                                                                                                              | 受講者数<br>(応募者数) |
|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| ニューヨークフィルム<br>アカデミー特別講座<br><br>Filmmaking Workshop<br>in Gunma        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：<br/>(オンライン) 令和7年8月4日～8日<br/>(対面) 令和7年8月20日～24日</li> <li>・対面講座開催場所：群馬県庁昭和庁舎</li> <li>・講座内容：<br/>映像制作に関する体系的講座（脚本・監督・プロデューサー・プレゼンテーションに関する講義、撮影・編集実習、短編映画制作）</li> </ul> | 36名<br>(70)    |
| ロイヤルカレッジオブ<br>アート特別講座<br><br>Design Thinking for<br>Future Innovation | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和7年11月26日～28日</li> <li>・開催場所：Gメッセ群馬</li> <li>・講座内容：<br/>複雑な社会課題を解決し、新たな価値を生み出すために活用される「デザイン思考」を世界最高峰の教育機関の講師から学ぶ講座</li> </ul>                                         | 25<br>(118)    |
| 東映ツークン研究所<br>特別講座                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和7年12月6日、<br/>令和8年1月24日</li> <li>・開催場所：TUM0 Gunma</li> <li>・講座内容：<br/>最先端の映像技術や最新の動向の講義に加え、参加者が制作したデジタル作品を講師が直接講評する特別講座を県内クリエイティブ系専門学校と連携して開催</li> </ul>              | 17<br>(17)     |

(2) ぐんまちゃん推進

決算額 476,056 千円

群馬県のキラーコンテンツの一つである「ぐんまちゃん」の認知度を世界的に高め、群馬県のブランド力強化と県民の郷土愛の醸成を図ることを目的に動画コンテンツの制作・放送配信やプロモーションを実施した。

① ぐんまちゃんキャラバン隊

ぐんまちゃんを隊長とした「ぐんまちゃんキャラバン隊」がイベントや県内幼稚園等を訪問して、群馬県のPRや子ども達の郷土愛の育成、県民プライド醸成に取り組んだ。

・ 出動回数：345 回（内訳：イベント等 248 回、幼稚園等：68 回、動画撮影等：29 回）

② アニメ放送・配信

アニメシーズン1・2を再放送・配信した。

・ テレビ再放送（シーズン1・2）

| 区 分   | 内 容                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------|
| 放送期間  | 令和7年10月～令和8年3月 毎月第1金曜日 11:30～12:00<br>・ アニメ本編（シーズン1・2から厳選）、実写オリジナル映像 |
| 放 送 局 | NHK-World JAPAN<br>・ 配信地域：およそ160の国・地域<br>・ 内 容：英語の字幕により配信            |

・ 動画配信

| 区 分      | 内 容                                                                                                                             |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国内配信サービス | ・ アニメタイムズ、FODほか20サービス                                                                                                           |
| 海外配信サービス | (1) クランチロール<br>・ 配信地域：全世界(200以上の国と地域)<br>※一部アジア地域を除く<br>・ 内 容：8言語の字幕により配信<br>(2) アニメタイムズ（インド）<br>・ 配信地域：インド<br>・ 内 容：英語の字幕により配信 |

③ 公式グッズ制作

ぐんまちゃん公式グッズを制作・販売した。

| 区 分            |        | 制 作 数   | 販 売 数   |
|----------------|--------|---------|---------|
| ぬいぐるみ          | ぐんまちゃん | 2,800 個 | 2,800 個 |
|                | あ お ま  | 1,300   | 1,000   |
|                | み ー み  | 800     | 500     |
| ぬいぐるみ<br>マスコット | ぐんまちゃん | 4,750   | 4,500   |
|                | あ お ま  | 1,750   | 1,750   |
|                | み ー み  | 1,750   | 1,750   |

④ ぐんまちゃん全国プロモーション実施

ぐんまちゃんのCMを3本制作し、関東ローカル「日本テレビ」、関西ローカル「朝日放送」にて放映、WEB媒体ではYouTube、TVerに配信した。

対面イベントとしては、令和7年10月に東京（5日間）、令和8年2月に大阪（2日間）にて、ぐんまちゃん初のPOP-UPストアイベントを開催するとともに、令和8年1月には大阪にて、「日本全国なかよしキャラバン」と称しステージイベントも開催。人流の多い地域にて、群馬県及びぐんまちゃんのPRを実施した。

また、ぐんまちゃんの主催イベント「ご当地キャラカーニバル」からサンバをイメージし、新曲「ぐんまちゃんバ！」を制作、ぐんまちゃんのプロモーションのツールとして、今後のイベント出演・プロモーションに活用していく。

・「NRC全国キャラクター調査」結果

| 区 分   | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 全国認知度 | 43 %  | 49 %  | 47 %  |
| 好感度   | 8     | 7     | 9     |

⑤ ご当地キャラカーニバル in ぐんま 2025

ぐんまちゃんをホストとする大型キャラクターイベントを開催した。昨年に引き続き3回目の開催となった。

| 区 分  | 内 容                                          |
|------|----------------------------------------------|
| 開催日時 | 令和7年9月27日(土)、28日(日)<br>両日とも午前9時30分～午後4時00分   |
| 会場   | 群馬県庁県民広場ほか                                   |
| 来場者数 | 4.8万人(2日間計)                                  |
| 参加者  | 120キャラ(ホストのぐんまちゃん・あおま・みーみ含む)<br>108団体(群馬県含む) |

⑥ 海外プロモーション

北米最大級のアニメコンベンション「アニメエキスポ」に、昨年に引き続き3回目の出展をした。ぐんまちゃんブースとして群馬県が単独出展した。

| 区 分  | 内 容                                        |
|------|--------------------------------------------|
| 開催日程 | 令和7年7月3日(木)～6日(日)                          |
| 会場   | 米国・ロサンゼルスコンベンションセンター                       |
| 来場者数 | 約6千人(4日間合計) ※全体来場者約41万人(4日間合計)             |
| 内 容  | ・アニメぐんまちゃんの放映、ぐんまちゃんダンスパフォーマンス、グッズ販売、観光PR等 |

⑦ ぐんまちゃんお誕生日会

ぐんまちゃんが主催するファンイベントとして、「ぐんまちゃんお誕生日会」を開催した。

| 区 分     | 内 容                                                                                                                                                                                                                                |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開 催 日 時 | 令和 8 年 2 月 11 日(水) 午前 10 時 00 分～午後 5 時 30 分<br>(スペシャルステージ 午後 1 時開場、午後 2 時開演)                                                                                                                                                       |
| 開 催 方 法 | 無料開催<br>有料開催 (スペシャルステージ)<br>一般： 1,000 円 小学生以下： 500 円<br>3 歳未満は保護者 1 名につき 1 名無料 (膝上)                                                                                                                                                |
| 会 場     | 群馬県庁県民ホール北・南<br>スペシャルステージの入場者数：277 名                                                                                                                                                                                               |
| 出 演 者   | ・ぐんまちゃん、あおま、みーみ<br>・出口たかし、中野美優、寺嶋由芙、ぐんまくん (湯本晴)、咲乃ゆい (utaGe!)、与田理央那 (FES☆TIVE)、夢乃菜生 (SAKURADOLL)<br>・しまねっこ (島根県)、しんじょう君 (高知県須崎市)、ふっかちゃん (埼玉県深谷市)、みきやん (愛媛県)、チーバくん (千葉県)、ゆもみちゃん (草津温泉観光大使)、さのまる (栃木県佐野市)、ひこにゃん (滋賀県彦根市)<br>・司会：寺嶋由芙 |

⑧ 「劇団ぐんまちゃん♪」

ア YouTube チャンネル「劇団ぐんまちゃん♪」

未就学児とその親世代をターゲットに、ぐんまちゃん和他キャラクターが、童謡や手遊び歌を配信し、群馬県とぐんまちゃんの魅力を発信した。

・総再生回数 17,277,404 回 動画公開本数 301 本

イ 「劇団ぐんまちゃん♪」コンサート

YouTube チャンネル「劇団ぐんまちゃん♪」の人気曲を中心に、ぐんまちゃん等による寸劇、童謡や手遊び歌、ダンス等を内容とする公演を実施した。

| 区 分     | 内 容                                                                      |
|---------|--------------------------------------------------------------------------|
| 開 催 日 時 | 令和 8 年 1 月 24 日(土) 2 回公演 (開演 11 時、14 時)                                  |
| 開 催 方 法 | 有料開催<br>S 席 中学生以上 2,000 円、小学生以下 1,000 円<br>一般席 中学生以上 1,000 円、小学生以下 500 円 |
| 会 場     | 昌賢学園まえばしホール 小ホール (定員：518 席)<br>入場者数：1,004 名 (2 回公演の合計)                   |
| 出 演 者   | ・ぐんまちゃん、あおま、みーみ<br>・出口たかし、中野美優、宮崎栞里                                      |

⑨ ぐんまちゃんの情報発信

ア ウェブサイト「ぐんまちゃんオフィシャルサイト」にぐんまちゃん関連の情報を集約・発信するとともに、アニメ公式ページによりアニメを周知した。

イ ぐんまちゃん本人のSNSアカウントを運用して、全国に情報発信を行った。

| 区 分                   | フォロワー数<br>※令和8年3月末時点 |
|-----------------------|----------------------|
| 【X(旧 Twitter)】 ぐんまちゃん | 70,079 人             |
| 【X(旧 Twitter)】 公式情報   | 約 14,000             |
| 【Instagram】 ぐんまちゃん    | 85,941               |
| 【TikTok】 ぐんまちゃん       | 56,510               |

⑩ ぐんまちゃんのデザイン利用許諾

ぐんまちゃんの利用許諾制度の運営及び利用促進を図るため、利用の手引きに掲載するイラストの追加を行った。

・許諾件数：令和7年度 1,288 件（令和6年度 1,026 件／令和5年度 1,113 件）

⑪ ぐんまちゃんの著作権契約・権利保全

ぐんまちゃん及び関連キャラクターについて、国内の商標登録及び海外の著作権登録を行い、権利保全を行った。

⑫ ぐんまちゃんグリーティングスペース「ぐんまちゃんのひろば」整備

ぐんまちゃんに「いつでも会える」を実現するため、昭和庁舎3階にぐんまちゃん専用のグリーティングスペースを整備した。

ぐんまちゃんファンの交流と新たな観光拠点の創出を目的としている。

| 区 分                          | 内 容                                                                                                 |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設 置 日                        | 令和8年2月3日（火）                                                                                         |
| 設 置 場 所                      | 昭和庁舎3階（NHK文化センター跡地）                                                                                 |
| 開 所 日 時                      | 毎週金・土・日曜日の午前11時00分～午後4時00分<br>※グリーティング開催時間以外は見学可（予約不要）                                              |
| グリーティング<br>※観覧無料<br>※予約優先    | (1) 時間<br>・午前11時30分～12時00分<br>・午後2時00分～2時30分<br>(2) 内容<br>・歌や踊りを一緒に楽しむステージ<br>・写真撮影会（毎週金曜日の午後の回で実施） |
| そ の 他                        | ・壁面に「ひらがなぐんま」の世界を表現<br>・アニメぐんまちゃん等の放映<br>・グッズ販売 等                                                   |
| 運 営 状 況<br>(令和8年3月31日<br>時点) | ・総来場者数：約2,600名<br>(アンケート回答者のうち県外が約2割)<br>・来場者満足度：平均4.7点（5点満点）                                       |

#### 4 デジタルトランスフォーメーション費

##### (1) デジタルトランスフォーメーション推進

決算額 36,054 千円

###### ① ぐんまDX加速化プログラム推進

群馬県独自のDXを推進し、県民の幸福度向上を目指すことを目的として「新・ぐんまDX加速化プログラム」を推進した。

###### ② 行政改革推進

県行財政改革大綱に基づき、県政のデジタル化推進や多様で柔軟な働き方の実現等に向けた行政改革の取組を行った。

###### ③ 地域課題解決プロジェクト

各分野の行政課題をデジタル技術により解決するための実証を実施した。

| 区 分                                | 事 業 内 容                                                            | 実 証 成 果                                   | 事 業 費    |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------|
| 群馬県域における生成 AI サービス共同利用実証           | 県内市町村等におけるデジタルツールの共同調達に向けて、機能や要件を検証した。                             | ・生成 AI サービスの共同調達                          | 3,784 千円 |
| 生成 AI による生活保護業務支援<br>※令和6年度からの継続事業 | ケースワーク業務支援のための関係法令や業務知識を活用した生成 AI サービスを導入し、効果検証を行った。               | ・ケースワーカー業務支援生成 AI (W AISE) の正式導入 (令和8年4月) | 158      |
| 生成 AI 活用推進パイロット業務                  | 県庁業務における生成 AI 活用事例収集のため、高性能な LLM (大規模言語モデル) を使用可能な生成 AI サービスを導入した。 | ・ユースケースの蓄積と横展開 (庁内共有、セミナー等)               | 828      |

###### ④ 群馬デジタルイノベーションチャレンジ

DXの発想やデジタルスキルを活用して、地域課題の解決や新たな価値を生む「デジタル人材」の育成事業を実施した。また、子どもたちがデジタルスキルを習得する機会を広く提供した。

| 区 分             | 実 績                                                  | 事業費       |
|-----------------|------------------------------------------------------|-----------|
| 県立高校の部活動支援      | ・講師派遣回数 : 計 83 回<br>・参加生徒 : 103 人<br>・プログラミングコンテスト入賞 | 20,621 千円 |
| 地 域 I C T ク ラ ブ | ・講座実施回数 : 計 26 回<br>・参加児童 : 117 人                    |           |

###### ⑤ 生成 AI 活用推進

専門的知識が必要な業務について、独自データ (法令、要綱・要領、マニュアル、手引きなど) を学習させることで、的確に回答を生成する環境を整備し、業務効率化を図った。

## (2)市町村DX

決算額 63,237 千円

### ① 社会保障・税番号制度推進

マイナンバー法の規定による情報連携を行うための情報システム（統合宛名管理システム）の運用保守及び更新を行った。

### ② システム標準化市町村支援

市町村の個別ニーズに基づき、自治体システムの標準化・共通化や行政手続のオンライン化等に係る伴走支援を行った。

### ③ 群馬県情報化推進協議会（ICTツール等の共同調達支援）

テキスト生成AI、電子契約及び議事録自動作成などのデジタルツールについて、検討部会を立ち上げ、自治体間で共同調達を実施した。

### ④ ぐんま電子申請受付システム運用

市町村との共同調達による、インターネットで行政手続等の申請・届出等を行う「ぐんま電子申請受付システム」を運用した。

| 区 分           | 実 績     |
|---------------|---------|
| 行政手続等のオンライン化数 | 2,775 件 |
| 利 用 件 数       | 213,064 |

## (3)デジタル基盤整備

決算額 1,886,789 千円

### ① 県庁情報通信ネットワーク運用管理

無線 LAN、テレワークシステム、グループウェアを取り入れ、新たな働き方に対応した第5次県庁情報通信ネットワークの運用管理を行った。

### ② 庁内ネットワーク用パソコン等整備

職員が、群馬県庁情報通信ネットワークに接続し、文書、資料等の作成や、各種業務システムへのアクセスに使用する、行政事務用パソコン・プリンタの運用保守を行った。

### ③ 情報セキュリティ

職員の情報セキュリティに係る意識を高め、サイバー攻撃による情報漏えい等の被害を防止するため、研修やeラーニング、標的型攻撃メール訓練を実施した。

また、高度なセキュリティ対策を行うため、県と市町村等 38 団体が、共同で群馬自治体情報セキュリティクラウドを運用した。

#### (4) NETSUGEN 運営

決算額 142,548 千円

##### ① 官民共創スペース運用・活用

新たなビジネスの創出や地域課題の解決に向けた取組を促進するため、官民共創スペース「NETSUGEN」の運営を行った。月額会員数及びセミナー・イベントの開催数は開設以来、増加し続けている。

| 区 分                  | 実 績                |                      |                      | 事 業 費     |
|----------------------|--------------------|----------------------|----------------------|-----------|
|                      | 令和 5 年度            | 令和 6 年度              | 令和 7 年度              |           |
| 月額会員数の状況             | 法人会員 91<br>個人会員 85 | 法人会員 102<br>個人会員 128 | 法人会員 124<br>個人会員 137 | 87,173 千円 |
| セミナー・イベント<br>の 開 催 数 | 361 回              | 445 回                | 531 回                |           |

##### ② 31 階 GINGHAM 運営

誰もが気軽に集い、様々なイベント等の開催や交流を通じて、にぎわいが創出される拠点として、ソーシャルマルシェ&キッチン「GINGHAM」の運営を行った。利用件数及び利用人数は開設以来、増加し続けている。

| 区 分     | 実 績      |          | 事 業 費     |
|---------|----------|----------|-----------|
|         | 令和 6 年度  | 令和 7 年度  |           |
| 利 用 件 数 | 392 件    | 402 件    | 31,482 千円 |
| 利 用 人 数 | 19,233 人 | 21,236 人 |           |

#### 5 グリーンイノベーション推進費

##### (1) カーボンニュートラル推進

決算額 74,660 千円

##### ① 地球温暖化対策実行計画推進

出前講座等を実施し、地球温暖化の現状や対策について普及啓発を実施した。

事業の進捗確認として、県内温室効果ガス排出量を算出した結果、2022 年度の県内温室効果ガス排出量は、14,218 千トン（CO2 換算）であり、基準年度（2013 年度）に比べ 19.1%減少した。

##### ② 2050 年「ぐんま 5 つのゼロ宣言」実現に向けた条例の運用

エネルギー使用量の多い事業者（原油換算 1,500k1 以上）や面積の大きい建築物（延床面積 2,000m<sup>2</sup>以上）を建設する事業者から、温室効果ガス削減のための計画・報告や再生可能エネルギー導入のための計画・報告を受け付けた。

| 区 分                                                            | 件 数   |
|----------------------------------------------------------------|-------|
| 排 出 量 削 減 計 画 及 び 排 出 状 況 報 告                                  | 258 件 |
| 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 計 画 及 び<br>再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 状 況 報 告 | 258   |
| 特 定 建 築 物 排 出 量 削 減 計 画                                        | 48    |
| 特 定 建 築 物 排 出 量 削 減 実 施 報 告                                    | 43    |
| 特 定 建 築 物 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 計 画                            | 48    |
| 特 定 建 築 物 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 実 施 報 告                        | 43    |

③ 県有施設脱炭素化推進

ア 県有施設の温室効果ガス排出量削減の推進

群馬県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、各所属・施設ごとにエネルギー使用量等削減の目標・計画を定め、県の事務事業に伴う温室効果ガス排出削減を図った。

イ 県有施設ＬＥＤ化

県有施設におけるＬＥＤ化の割合を 2030 年度までに 100%とするため、令和 6 年度からリース方式によるＬＥＤ化事業を開始し、令和 7 年度は 3 施設のＬＥＤ化を実施した。

④ 群馬県気候変動適応センター運営

適応策について県民等への普及啓発を目的として情報収集を行った。特に熱中症対策では、国立環境研究所との共同研究を行うとともに、デジタルリーフレットを作成し民間企業と連携した予防啓発を実施した。

⑤ ＥＶカーシェアリング実証実験

県有施設 5 か所に ＥＶ 20 台を導入し、平日は公用車として、休日は地域住民等とシェアする ＥＶカーシェアリング実証実験を実施した。

| 区 分               | 利 用 回 数 | 期 間                   |
|-------------------|---------|-----------------------|
| 平 日 公 用 車 利 用     | 2,731 回 | 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 |
| 休 日 カ ー シ ェ ア 利 用 | 161 回   | 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 |

(2)再生可能エネルギー推進

決算額 810,065 千円

① 再生可能エネルギー導入の促進

県民及び県内事業者の再生可能エネルギーの導入を促進するため、以下のア～オの事業を引き続き実施した。

ア 低利の「融資制度」

イ 設備導入時の初期費用が 0 円になる仕組みである「初期費用 0 円事業」

ウ 一括発注し購入することで設備導入時の初期費用を低減する取組である「共同購入」

エ 環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を活用し、県内中小企業者等や個人が太陽光発電設備や蓄電池を導入する際の経費の一部を補助する「太陽光発電設備等導入支援事業費補助金」

オ 内閣府の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、県内に太陽光発電設備を導入済みの住宅を有する個人が蓄電池を導入する際の経費の一部を補助する「住宅用蓄電池導入支援事業費補助金」

| 事 業 概 要                       | 内 容                     |
|-------------------------------|-------------------------|
| 住 宅 用 太 陽 光 発 電 設 備 等 導 入 資 金 | 認定 43 件、融資額 102,480 千円  |
| 事業用再生可能エネルギー設備等導入資金           | 認定 2 件、融資額 19,300 千円    |
| 住宅用太陽光発電設備等初期費用 0 円事業         | 4 事業者 9 プラン登録、累計 42 件成約 |
| 事業用太陽光発電設備等初期費用 0 円事業         | 4 事業者 4 プラン登録、累計 20 件成約 |

| 事業概要                                                      | 内容                                                       |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 住宅用太陽光発電設備等共同購入                                           | 市場価格比約 31%割引で購入<br>992 件申込、61 件成約（令和 8 年 3 月 31 日現在）     |
| 事業用太陽光発電設備等共同購入                                           | 市場価格比約 18%割引で購入<br>11 件申込、0 件成約（令和 8 年 3 月 31 日現在）       |
| 太陽光発電設備等導入支援事業費補助金<br>（太陽光発電設備単体導入又は太陽光発電設備及び蓄電池の同時導入を対象） | 補助金支払実績<br>中小企業者等 73 件、291,844 千円<br>個人 305 件、172,679 千円 |
| 住宅用蓄電池導入支援事業費補助金（太陽光発電設備設置済みの住宅への蓄電池単体導入を対象）              | 補助金支払実績<br>個人 201 件、99,112 千円                            |

## ② バイオマス活用推進

群馬県バイオマス活用推進計画（第 3 次群馬県循環型社会づくり推進計画に統合）に基づき、バイオマスの種類ごとの賦存量及び利用量等の進捗状況を調査した。

・バイオマス利用率(全種別合計：炭素換算)

| 計画策定時（令和 2 年度） | 令和 6 年度 | 目標（令和 12 年度） |
|----------------|---------|--------------|
| 80%            | 77%     | 80%          |

## ③ 温泉熱発電設備導入可能性調査

県内初となる温泉熱を利用したバイナリー発電を導入するため、既に湧出していて未利用状態の温泉水を利用した発電設備の導入可能性調査を実施した。

## (3) グリーンイノベーション推進

決算額 62,012 千円

### ① 「グリーンイノベーション群馬戦略 2035」の推進

県内への再生可能エネルギー導入や産業分野でのグリーンイノベーション創出を促進するため、民間投資を呼び込む観点から長期的な目標や 2035 年までの戦略を定める「グリーンイノベーション群馬戦略 2035」を推進した。

### ② 「ぐんま水素ビジョン 2035」の策定

水素等利活用の具体化を図り、群馬県の目指すべき姿や取組の方向性を示すことで、事業者の投資予見性を高める一助とするため「ぐんま水素ビジョン 2035」を策定した。

### ③ ぐんま脱炭素支援サービス

脱炭素の目標設定や具体策等に関する県内事業者の相談に専門家が応じる相談窓口の設置に加え、脱炭素経営を啓発するセミナーを開催した（相談 21 件、セミナー 1 回）。各支援団体を招集し、課題等を共有する連絡会を 1 回開催した。

### ④ グリーンイノベーション補助金

脱炭素化又は循環経済に資する新製品やサービスを開発しようとする事業者に対して補助金を交付し、新たなビジネスの創出を支援した。（6 件、35,850 千円）

⑤ 革新的環境イノベーションコンソーシアム

製造業企業、金融機関、エネルギーインフラ企業、大学及び県の計 17 団体からなるコンソーシアムにおいて、意見交換会及び勉強会を実施した。

⑥ 脱炭素ブランディング事業

県内企業が「商品を製造し、廃棄されるまで」の過程で行っている脱炭素の取組を、環境価値として定量化し、商品・企業価値の向上につなげる支援を 10 事業者に行った。

⑦ 地域と共創する脱炭素イノベーション創出事業の実施

地域課題の解決と脱炭素化を進める取組をビジネスの観点から創出するため、令和 6 年度にマッチングした市町村と事業者の実証事業 2 件を支援した。

## 6 交通イノベーション推進費

### (1) 交通まちづくり戦略推進

決算額 139,724 千円

多様な移動手段が選択できる社会に向けて、スマートフォンひとつで、目的地までのルート検索から、予約、決済までの手続きを一括で可能とする交通系アプリケーションである群馬版 M a a S 「G u n M a a S」（グンマース）の使い勝手の改善や利用登録者の拡大に取り組んだ。

また、バス事業の D X 化に向けた意識醸成を図るため、公共交通におけるデータ活用をテーマとした研修会を開催した。

| 区 分                     | 登 録 者 数  | 事 業 費      |
|-------------------------|----------|------------|
| G u n M a a S の 普 及 拡 大 | 44,380 人 | 102,346 千円 |

### (2) 地域交通対策

決算額 578,203 千円

#### ① 路線バス対策

県民の生活に欠かせない移動手段である路線バスを維持し、その利便性を向上させるため、路線バスを運行するバス事業者や市町村等に対して、運行費の補助を行った。

| 区 分       |            | 対 象 数         | 補 助 金     |
|-----------|------------|---------------|-----------|
| バス運行対策費補助 | 運 行 費 補 助  | 4 社 15 系統     | 49,051 千円 |
|           | 車両減価償却費等補助 | 4 社 18 両      | 21,359    |
| 市町村乗合バス補助 | 運 行 費 補 助  | 17 市町村等 59 路線 | 112,891   |
|           | 改善適正化促進補助  | 1 市           | 989       |
| 計         |            |               | 184,290   |

#### ② 運輸事業振興対策

群馬県トラック協会及び群馬県バス協会に対し運輸事業振興助成交付金を交付し、これにより環境対策事業や交通安全対策事業、バス停整備事業等が実施された。

| 区 分                   | 対 象 者 数 | 交 付 金      |
|-----------------------|---------|------------|
| 運 輸 事 業 振 興 助 成 交 付 金 | 2 団体    | 393,696 千円 |

### (3) 鉄道振興

決算額 200,773 千円

上毛電気鉄道及び上信電鉄が実施する線路・電路等の鉄道基盤設備の維持費に要する経費に補助し、中小私鉄の運行維持及び安全の確保を図った。

| 区 分               |             | 対 象 者         | 補 助 金      |
|-------------------|-------------|---------------|------------|
| 上 毛 線<br>活性化・再生対策 | 鉄道基盤設備維持費補助 | 上毛電気鉄道(株)     | 102,304 千円 |
| 上 信 線<br>活性化・再生対策 | 鉄道基盤設備維持費補助 | 上 信 電 鉄 ( 株 ) | 97,380     |
| 計                 |             |               | 199,684    |

### (4) 公共交通整備

決算額 261,941 千円

#### ① 市町村乗合バスの車両整備促進

県民の生活に欠かせない移動手段である路線バスを維持し、その利便性を向上させるため、路線バスを運行する市町村に対して、車両購入費の補助を行った。

| 区 分       |               | 対 象 数    | 補 助 金    |
|-----------|---------------|----------|----------|
| 市町村乗合バス補助 | 車 両 購 入 費 補 助 | 4 団体 4 両 | 8,428 千円 |

#### ② ユニバーサルデザインタクシー車両導入支援

誰もが活躍できる地域社会づくりのため、インバウンドや車椅子利用者等の移動需要に対応するため、車両購入費の補助を行った。

| 区 分                          |               | 対 象 数   | 補 助 金    |
|------------------------------|---------------|---------|----------|
| ユニバーサルデザイン<br>タクシー車両導入<br>支援 | 車 両 購 入 費 補 助 | 3 社 4 両 | 1,000 千円 |

#### ③ 鉄道整備促進

駅施設や駅周辺の交通関連施設の整備を支援することにより、鉄道利用の利便性向上や地域の活性化を図った。

| 区 分                             |  | 対 象 者 | 補 助 金    |
|---------------------------------|--|-------|----------|
| J R 群 馬 総 社 駅 東 口 ロ ー タ リ ー 拡 大 |  | 前橋市   | 4,588 千円 |
| J R 豊 岡 だ る ま 駅 駅 舎 設 置         |  | 高崎市   | 118      |
| J R 八 木 原 駅 周 辺 整 備             |  | 渋川市   | 460      |
| 上 信 下 仁 田 駅 ス テ ー シ ョ ン 整 備     |  | 下仁田町  | 4,970    |
| 計                               |  |       | 10,136   |

#### ④ 鉄道輸送対策

上毛電気鉄道の踏切保安設備の更新、上信電鉄の道床更新及びわたらせ渓谷鐵道のレールの重軌条化など、安全性向上に資する設備整備に対して補助し、中小私鉄の運行維持及び安全の確保を図った。

| 事業名           | 対象者         | 整備内容                   | 補助金        |
|---------------|-------------|------------------------|------------|
| 輸送対策<br>事業費補助 | 上毛電気鉄道(株)   | 踏切保安設備更新、車両更新、レールの重軌条化 | 121,649 千円 |
|               | 上信電鉄(株)     | 道床改良、PC まくら木化等         | 53,181     |
|               | わたらせ渓谷鐵道(株) | レールの重軌条化、踏切保安設備更新等     | 28,960     |
| 計             |             |                        | 203,790    |

⑤ 地域公共交通計画策定

県内中小私鉄3社について、「今後のあり方に関する基本方針」に基づき、地域公共交通計画策定を進めるため、地域懇談会、専門的な調査・検討、計画原案策定等を、沿線ごとの進捗状況に応じて実施した。

| 区 分        | 事業費       |
|------------|-----------|
| 地域公共交通計画策定 | 19,962 千円 |

⑥ 第四種踏切安全対策

鉄道事業者が実施する県内第四種踏切の第一種踏切化事業に要する経費に補助し、沿線住民の安全性向上を図った。

| 区 分       | 対象者       | か所数  | 補助金      |
|-----------|-----------|------|----------|
| 第四種踏切安全対策 | 上毛電気鉄道(株) | 1 か所 | 3,637 千円 |
|           | 上信電鉄(株)   | 4    | 14,988   |
| 計         |           | 5    | 18,625   |

## 7 地域外交費

### (1) 国際政策推進

決算額 151,054 千円

知事によるトップ外交を実施し、海外要人とのハイレベルな人脈を構築するとともに、先進的取組を視察し県政への反映に努めた。

| 区 分   | 実 績                                                                                                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 米 国   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・米国中西部地域との関係強化（日米中西部会参加（都内）、現地企業との意見交換など）</li> <li>・インディアナ州知事との会談</li> <li>・ネブラスカ州知事との会談</li> </ul>    |
| ベトナム  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム政府副首相との会談（都内）</li> <li>・ベトナム政府首相、財政副大臣、地方政府要人との会談、現地大学との意見交換など</li> <li>・日越地方協力フォーラム出席</li> </ul> |
| イ ン ド | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インド政府商工大臣、外務副大臣、インド人民党副総裁との会談、現地大学との意見交換など</li> <li>・県内企業団と現地企業のビジネス交流会</li> </ul>                    |

## (2) 上海事務所運営

決算額 29,794 千円

上海事務所において、職員が現地駐在する強みを生かした上海市政府とのコネクションの構築・強化を基盤とし、県産品の P R や、販路開拓を行った。

また、群馬県と上海市内の高等教育機関との交流として、上海市実験学校東灘高級中学と県立尾瀬高校との学生交流事業を実施した。

| 区 分                         | 実 績      |
|-----------------------------|----------|
| 観光誘客促進（旅行社等訪問、来所相談、観光展出演）   | 19 件     |
| 県産品 P R （事業所等訪問、来所相談、物産展出演） | 24       |
| 企業のビジネス展開支援（県内企業訪問、来所相談）    | 31       |
| 情報発信（ウェイボー）フォロワー数           | 57,697 人 |

## (3) 国際交流推進

決算額 26,612 千円

### ① グローバル始動人テイクオフ

| 区 分               | 主 な 内 容                                                                                                       |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 米国インディアナ州への高校生派遣  | 国際交流等に関心を持つ県内の高校生 8 名を米国インディアナ州へ派遣し、現地の高校・大学での学生交流や企業訪問等を実施した。                                                |
| グローバル始動人育成プログラム   | 上記の派遣者（高校生）を対象に研修を実施するとともに、学生等を対象にした講演会も実施した。<br>・ 研 修 7 回（うち 1 回は成果報告会）<br>・ 講演会 1 回（成果報告会と同時開催）             |
| 米国インディアナ州からの学生受入れ | 米国インディアナ州の大学生 6 名を群馬県で受入れ、県内高校・大学での学生交流を行うとともに群馬の魅力について紹介した。                                                  |
| 小・中・高生のための国際理解講座  | 県内の小・中・高生を対象に、JICA 海外協力隊経験者による国際協力講座や国際交流員による異文化理解講座を実施した。<br>・ 参加校数<br>小学校 7 校、中学校 4 校、高校 4 校、<br>特別支援学校 1 校 |

### ② 県民向け国際交流イベントの実施

県内の民間国際交流団体等と連携して国際交流イベントを実施し、県民の国際理解促進及び県内在住の対象国関係者との関係構築を図った。

| 区 分                                              | 主 な 内 容                                                               |
|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| ぐんまベトナム交流祭（令和 8 年 2 月 21 日～2 月 22 日・県庁 1 階県民ホール） | ベトナムの旧正月「テト」をテーマとした交流イベント（文化体験、ステージ企画、飲食物販売等）を実施。<br>・ 来場者数 約 7,400 人 |

③ 海外県人会、海外ぐんまサポーターズとの連携

海外県人会等を群馬県の応援組織として委嘱し、現地の人脈づくりや情報収集等で協力をしてもらうことで、海外自治体や海外県人会等とのネットワーク構築を図った。

・県人会等の活動状況

| 区 分          | 構成員数 | 主 な 活 動          |
|--------------|------|------------------|
| 在伯群馬県人文化協会   | 70 人 | ・ 移住者相互親睦、生活援護指導 |
| 在北伯群馬県人会     | 20   |                  |
| 在パラグアイ群馬県人会  | 27   |                  |
| 南加群馬県人会      | 74   |                  |
| ハワイ群馬県人会     | 47   |                  |
| フィリピン群馬会     | 54   |                  |
| 上海群馬県人会      | 90   | ・ 上海事務所に各種情報を提供  |
| 香港ぐんまサポーターズ  | 21   | ・ 会員間相互親睦        |
| ハノイぐんまサポーターズ | 23   |                  |

④ 語学指導等を行う外国青年招致（JETプログラム）

県及び市町村、私立学校等において国際交流員及び県内学校の英語指導助手（ALT）を受け入れ、群馬県地域レベルの国際交流推進と英語教育充実を図った。

・JETプログラム活動状況

| 区 分     | 主 な 内 容                                                                   |
|---------|---------------------------------------------------------------------------|
| 英 語 指 導 | 英語圏各国から来日した 165 人の英語指導助手が小学校、中学校、高等学校等で英語指導に従事した。                         |
| 国 際 交 流 | 各国から来日した 4 人の国際交流員が、自治体の国際業務（翻訳、通訳、住民向け語学講座、インバウンド観光PR等）に従事した。（配置先：県、前橋市） |

（４）旅券発給

決算額 36,594 千円

旅券法に基づき海外渡航に必要な一般旅券の作成・検査や旅券申請・交付の窓口である市町村旅券窓口業務の支援を行った。令和 7 年は、引き続き海外渡航需要の回復傾向が続いているが、コロナ禍前までの状況には戻っていない。

- ・ 旅券申請件数 令和 7 年：37,668 件、令和 6 年：38,144 件、令和 5 年：34,465 件
- ・ 旅券発行件数 令和 7 年：36,489 件、令和 6 年：37,983 件、令和 5 年：34,176 件

| 男女別      |          | 有効期間別    |          |      |
|----------|----------|----------|----------|------|
| 男        | 女        | 10 年     | 5 年      | その他  |
| 17,193 件 | 19,296 件 | 21,675 件 | 14,799 件 | 15 件 |